

県知事選挙政策を発表



2020年12月6日
IV-20

◇発行◇
日本共産党県議会議員
渡辺 ゆり子

<連絡先>
日本共産党県議団執務室
電話 023-630-3241(受付)
自宅：山形市青田2-10-5
電話 023-642-2365

県知事選政策発表

11月24日、日本共産党山形県委員会は、来年行われる予定の県知事選挙政策を発表し、記者会見を行いました。「県民が主人公」の立場で、だれ一人取り残さない県政の発展をー県民の命と生活を守る原点に立つてーのタイトルで、

10月～11月の県議会

10月21日～23日は、2019年度（令和元年度）の決算審査が行われました。

1、吉村県政の12年と今後の課題

2、今後の県政発展に向けた「コロナ対策の緊急提案」と「5つの提案」

3、県民が主人公の温かい県政の発展か、県民に冷たい自民党県政の復活を許すのか

の県知事選で問われる争点の内容で構成されています。

22日に吉村美栄子知事の選挙事務所開きが行われましたが、この政策を反映させるよう吉村知事と伊勢選対本部長に届けました。

県議定会定期開会

県議会は、12月1日開会し、会期は18日までの予定です。

日本共産党県議団は、一般質問や予算特別委員会の質問機会はありません

が、それぞれの委員会で請願審査も含め、県民のみなさんの声を代弁して力を尽くします。

11月5・6日は閉会中委員会審査が、11月13日はブロックごとに地域議員協議会が開かれました。私の場合、委員会の県内調査や新庄北高校の高校生との意見交換会もありました。

この間取り上げたいいくつかの項目の中からその概略を報告します。

国保計「国のなる支援を

質問に対し、県担当課は「昨年は、見込みより医療費が少なく、黒字となった」「保険料負担の急激な上昇を抑えるための激変緩和措置を12自治体で実施した。」「コロナ対応の保険料減免措置などを実施しているが、今年度に影響が出てくるの

受動喫煙防止強化を

東北初の条例化運用となつた昨年度の取り組みの説明を求めるとともに、「防止対策の効果はかなりあらわれている反面、コンビニや公園が喫煙場所になっていくところがあり、住民から何とかならないかの声がある。協議会などで課題としてほしい」と発言しました。

ひとり親家庭支援強化を

コロナ禍で、ひとり親家庭の方から住居や今後の仕事のこと子育てのことなど相談が寄せられました。私は、閉会中厚生環境常任委員会では市町村や県の相談対応、公的制度の周知、利用などの充実について提起

ゆり子の視点

学生支援プロジェクト

コロナ禍のもと、民青や有志の方々が米沢市や山形市で学生への食糧支援を行っている。オンライン授業で、11月14日開業であり大学に催の学生への食糧も通えず、家賃が支援活動の現場をもったいなかった



見に行ってきたまじと話す方もいました。参加を申し出る人もいるとのこと。学生が米や野菜、日用品を「助かります」などの中からも何かや語って次々と受け取りたいと自らスタッフ取っていきました。

県農民連が県要請

11月24日、県農民連が7項目の県要請を行い、関県議と私（渡辺ゆり子）も同席しました。

要請項目は以下の通り。

- 7月の豪雨被害の復旧支援
- 「高収益作物時期策支援交付金事業」について
- 米価下落と来年の生産目標に関して
- 鳥獣被害対策
- 国産小麦の利用拡大について
- 環境支払制度の拡大の方向で検討を求める



その他、農家や農業堤防の実態と要望を届け懇談しました。

県要請を行う県農民連